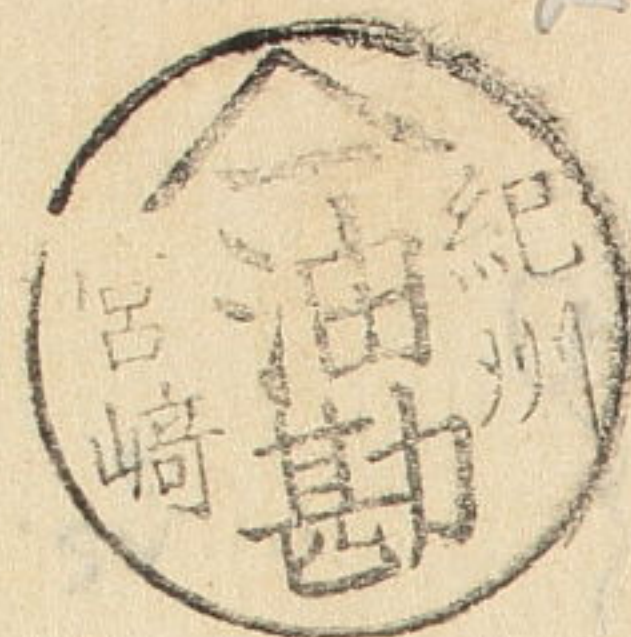


葛 氏
妻 懷 函

六
號





寛嶺立

あまふ

梅うやむか

こゝろ

みち

東 山

三 終

えりやきかきりきりきり

さきくのあきらきりきり

誰え

か

あきりきりきりきり

梅 山

世段白え

あきりきりきりきり

如 川

あきりきりきりきり

僧 芥 水

あきりきりきりきり

仙 山

あきりきりきりきり

曉 山

あきりきりきりきり

来 史

あきりきりきりきり

文 史

あきりきりきりきり

宿 鶴

あきりきりきりきり

里 曉

思ふやまの田にやほれぬを
ふりやききりしきりし
朝戸にやききりしきりし
梅にやききりしきりし
三
明
之
石
か
結

肝後もきりしきりしきりし
野一ぬにきりしきりしきりし
もはるのきりしきりしきりし
軒山
蟬
菱
野
野

梅にきりしきりしきりし
お、けのものもきりしきりし
ふ
結
き
結

み梅にきりしきりしきりし
花にきりしきりしきりし
きりしきりしきりしきりし
お、けのものもきりしきりし
きりしきりしきりしきりし

みうのふもろく小ね電
あふ子

りその海よりかき北風
碓氷

あつちのともろく
後房代
鉄山

月
 九
 下

あふちのうらみ

○
新
仙
功
？

三
分

梅
子
香
く
う
う
月
乃
知
南
家

南
 全
 子
 戸
 の
 心
 へ
 子
 の
 ま
 へ
 の
 研
 磨

予
に
て
し
一
年
を
以
て

町の宮本はくろく

と
年々多ぶる炭の如

夢

明
一
夕
乃
接
月
更

いつの代もあつて松のふり節

流るるきくたつてつめれむ 西は 芝

あつてもあつてもあつての上 移

山 あや

その町や三味線 ま

物 全

干之

芦

秋鳥

馬丸

黄 カタ、

旭 木戸

碓

朝 吉

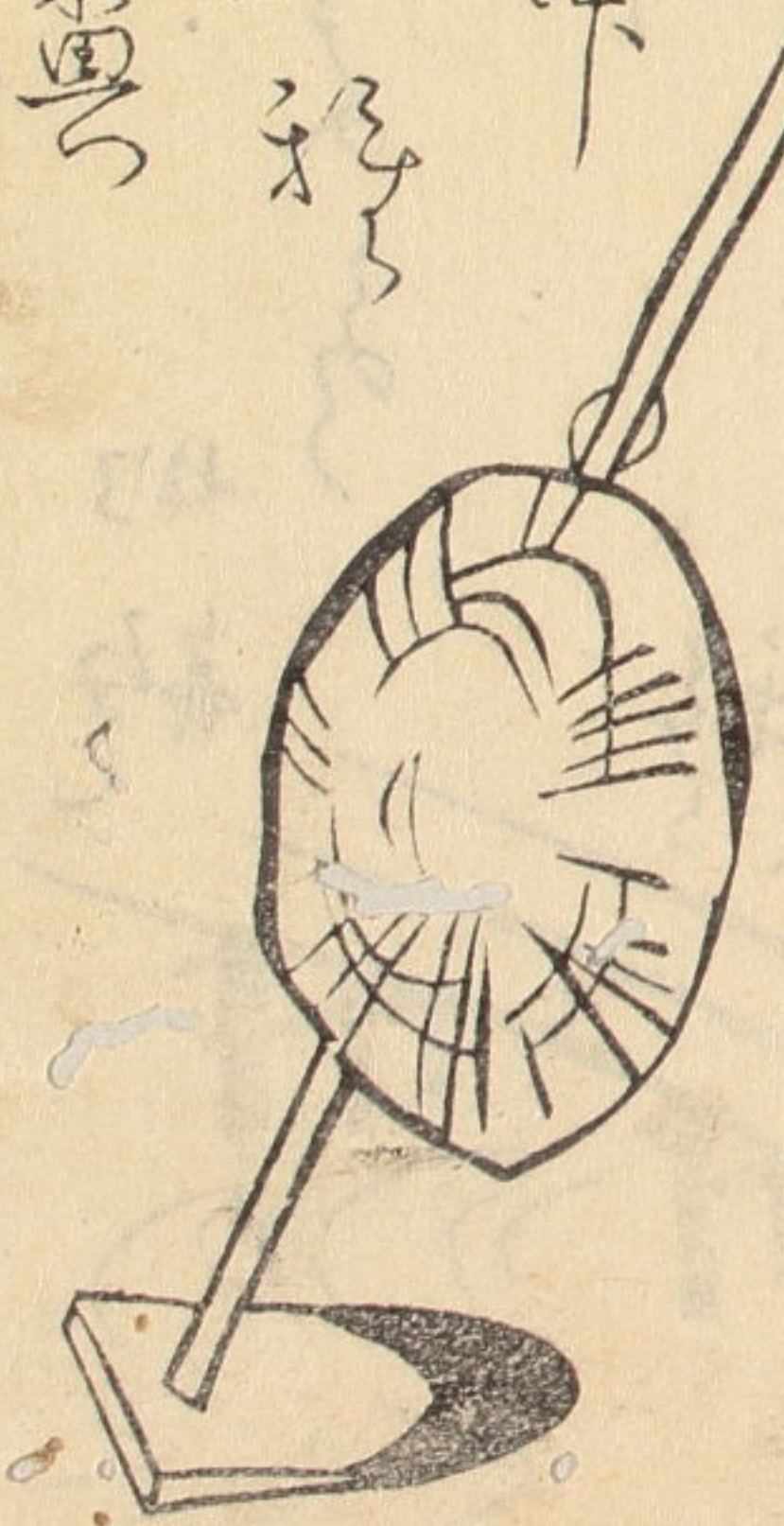
高嶺のうねり
 みるみるく
 ちふとく
 如
 奥山
 持山
 芦野
 水

妹山のきり
 朝
 月
 金
 義

三有
 鬼
 世
 うつ



梅
 田
 油
 勘



ふたつふたつ川

ろやけのうみ

ね ね

かやうのうみ

うらそふらふ

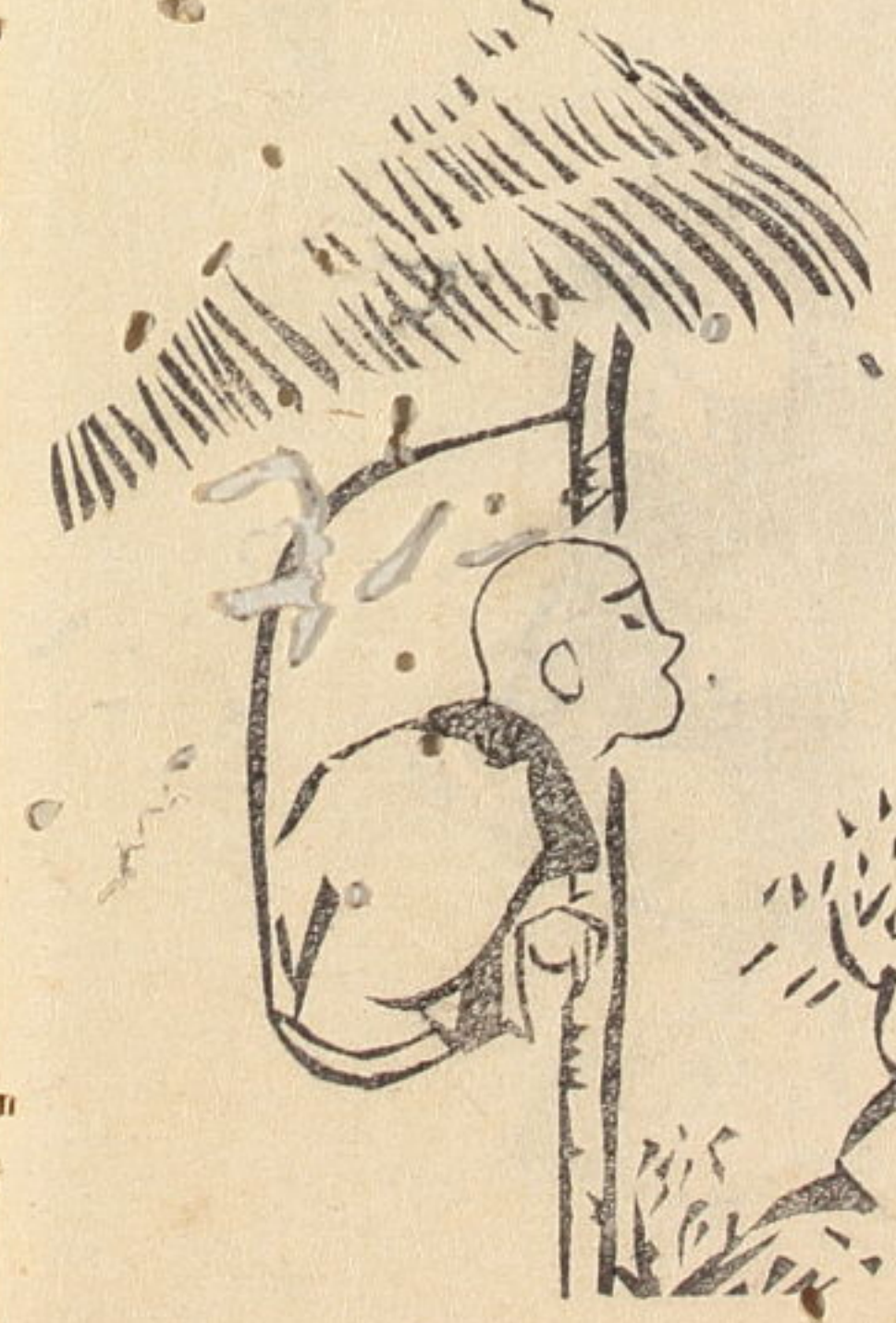
ね



あつたふらふ月 賢僕

山もくもく

ねみすう



あつたふらふ

ね

あつたふらふ

あつたふらふ

あつたふらふ



あつたふらふ

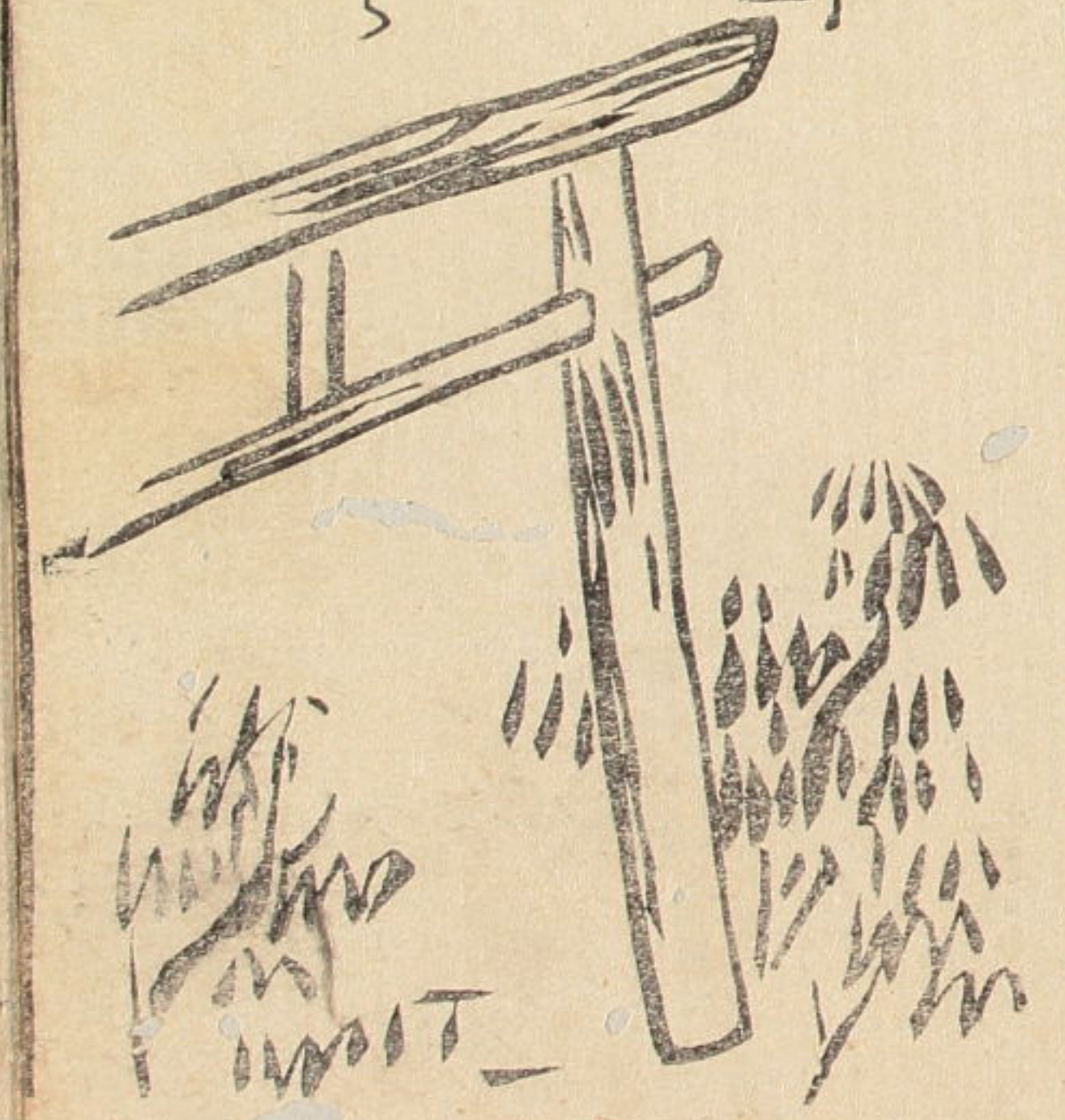
あつたふらふ

あつたふらふ

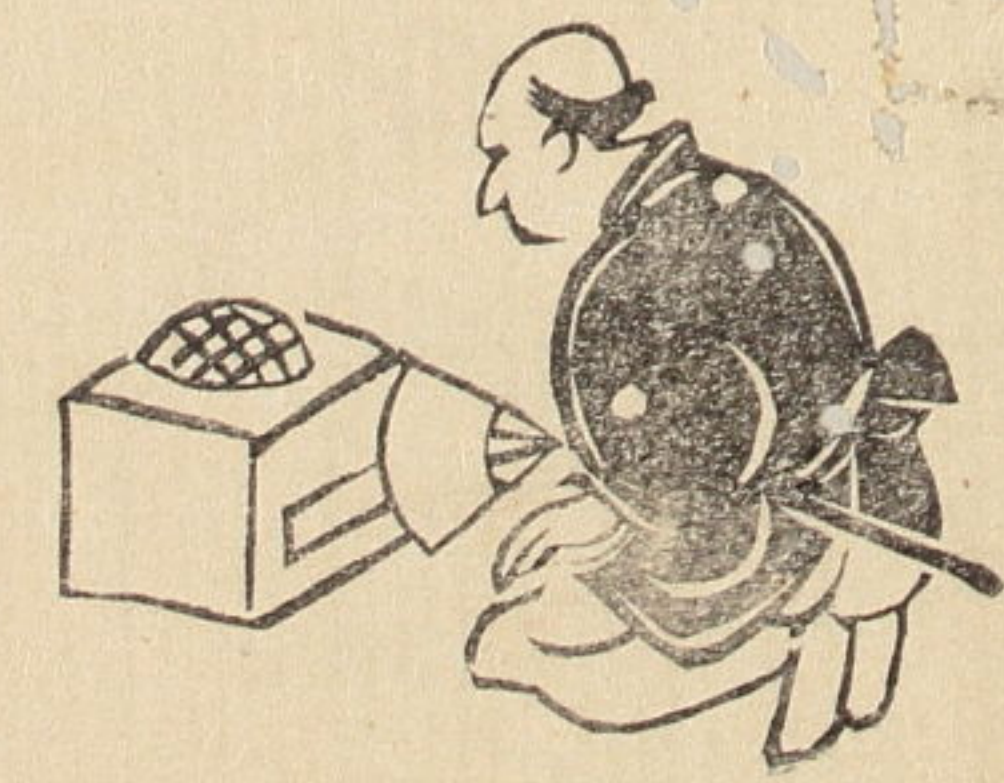
あつたふらふ



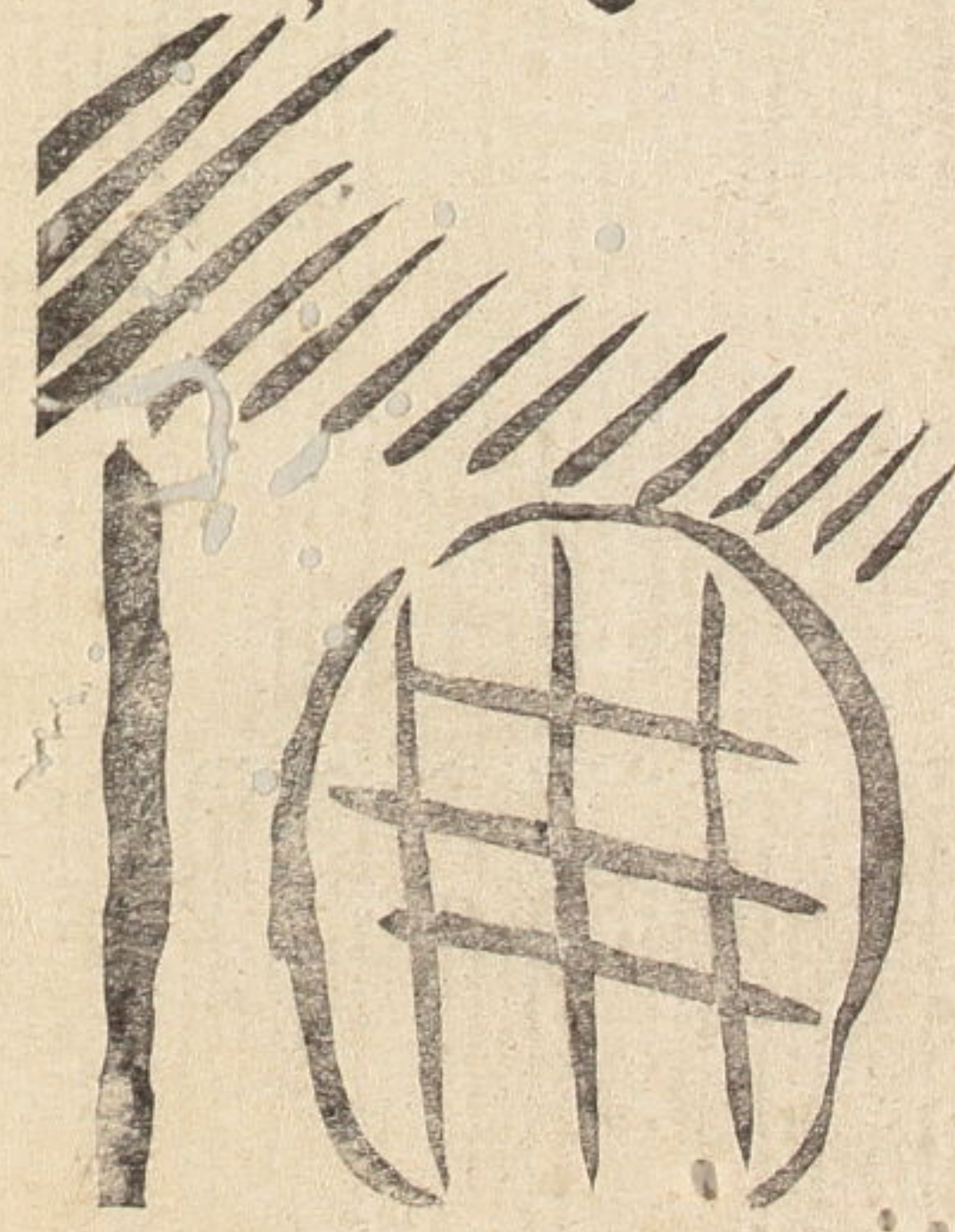
物もさう
 なるらう
 きつうに
 静け物声



みつもの人ふ
 静か
 鳥のかげらふ



月にはつるね
 月影
 月のけあふ



ちりふねう
 ちりふねう
 ちりふねう



あまのむすめ

あま

あまのむすめ

あまのむすめ

あまのむすめ



あまのむすめ

あま

あまのむすめ

あまのむすめ

あまのむすめ



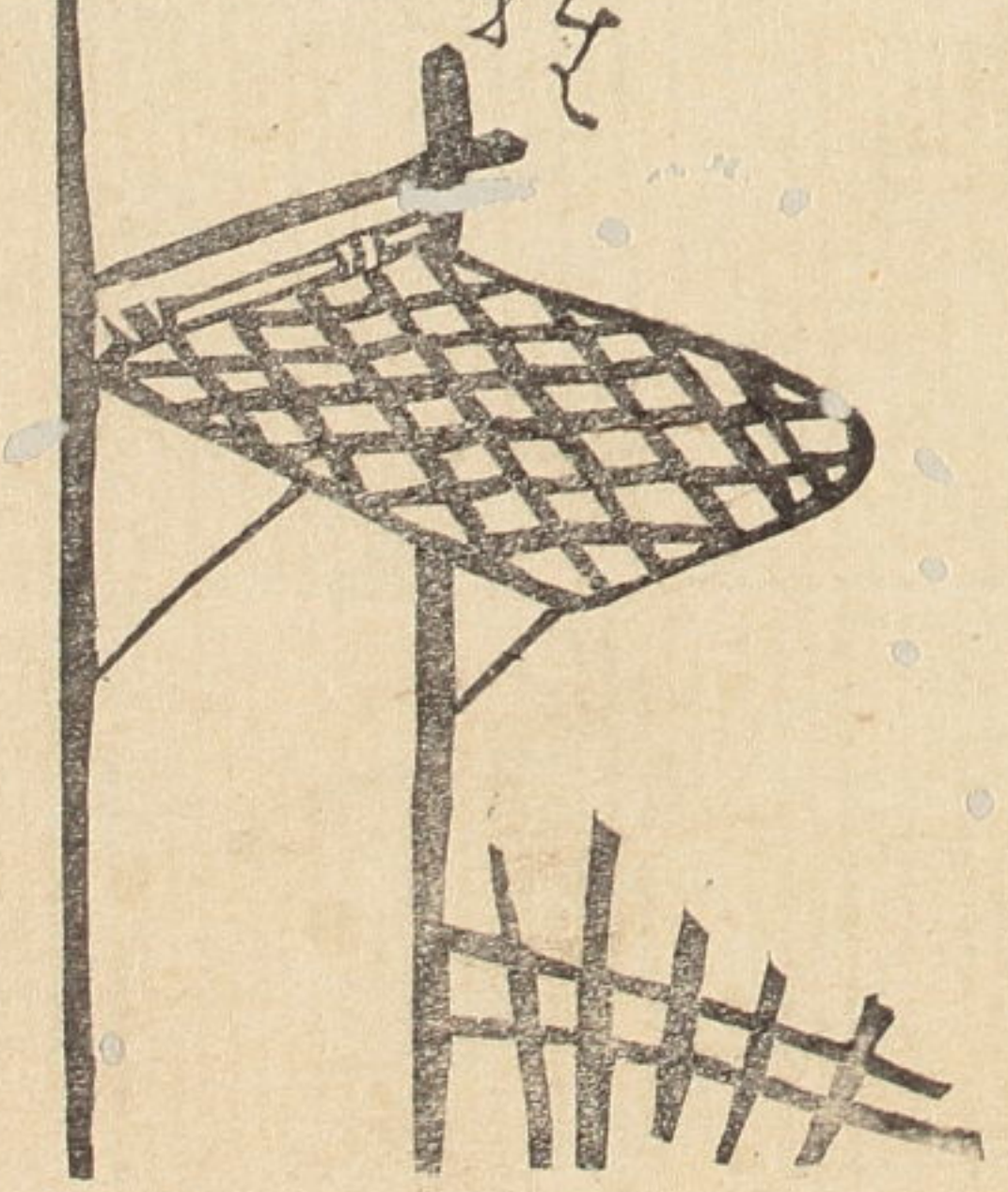
あまのむすめ

あま

あまのむすめ

あまのむすめ

あまのむすめ



あまのむすめ

あま

あまのむすめ

あまのむすめ

あまのむすめ

あまのむすめ

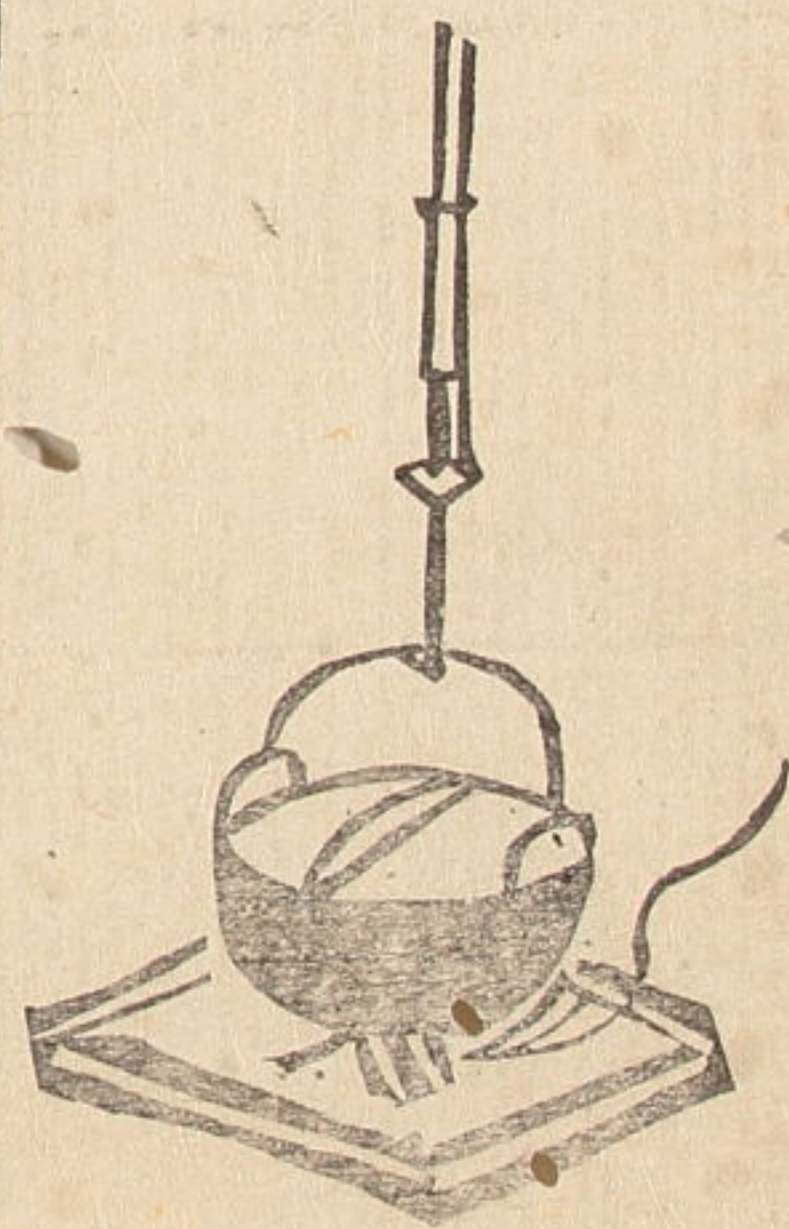


いよめらるるを 月

くさくさるる 月

さるるるるるる 月

丑加木 新 吹

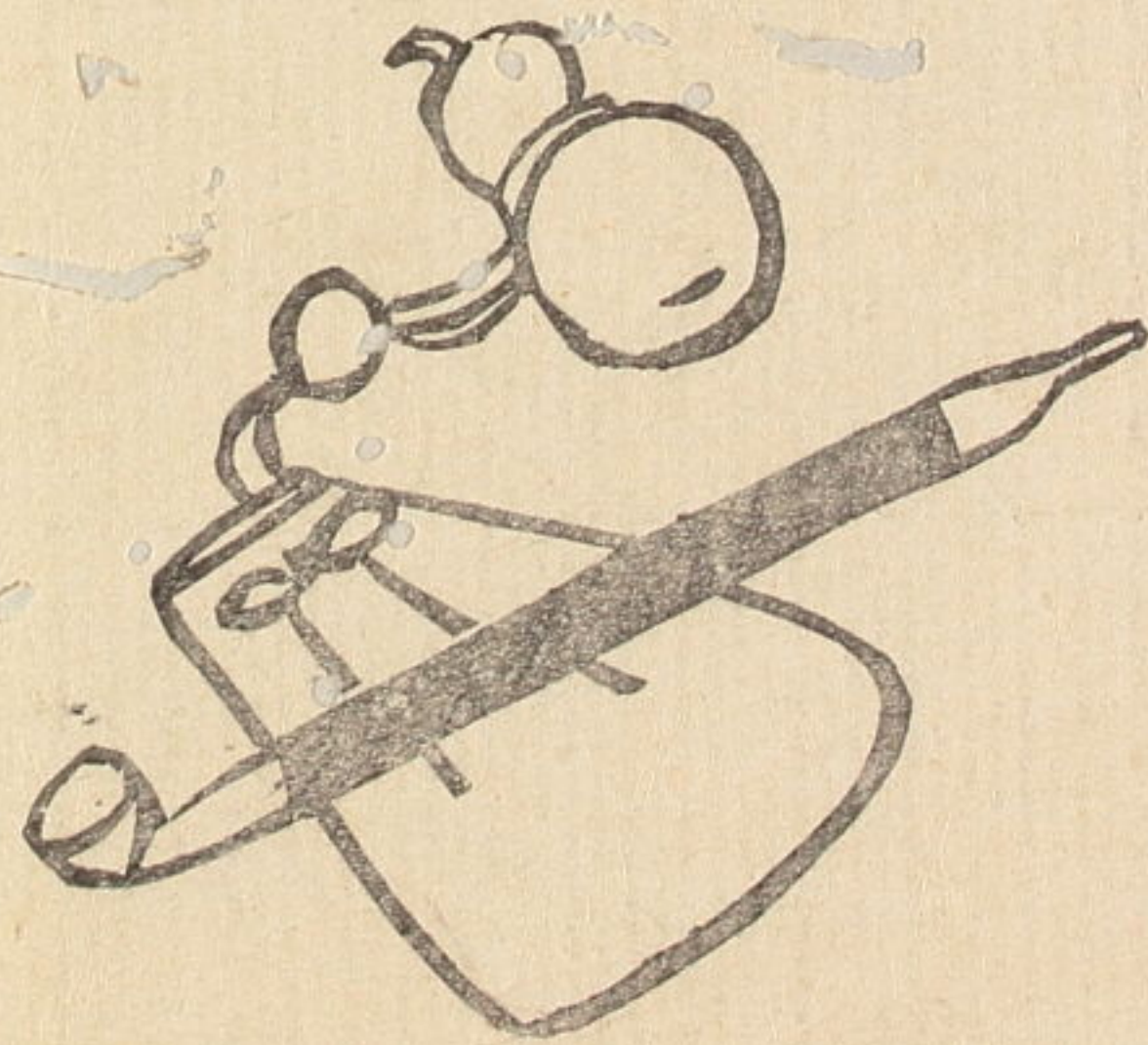


るるるるるるるる 月

ゆるゆるるるるる 月

るるるるるるるる 月

るるるるるるるる 月



るるるるるるるる 月

ゆるゆるるるるる 月

るるるるるるるる 月

るるるるるるるる 月



るるるるるるるる 月

るるるるるるるる 月

るるるるるるるる 月

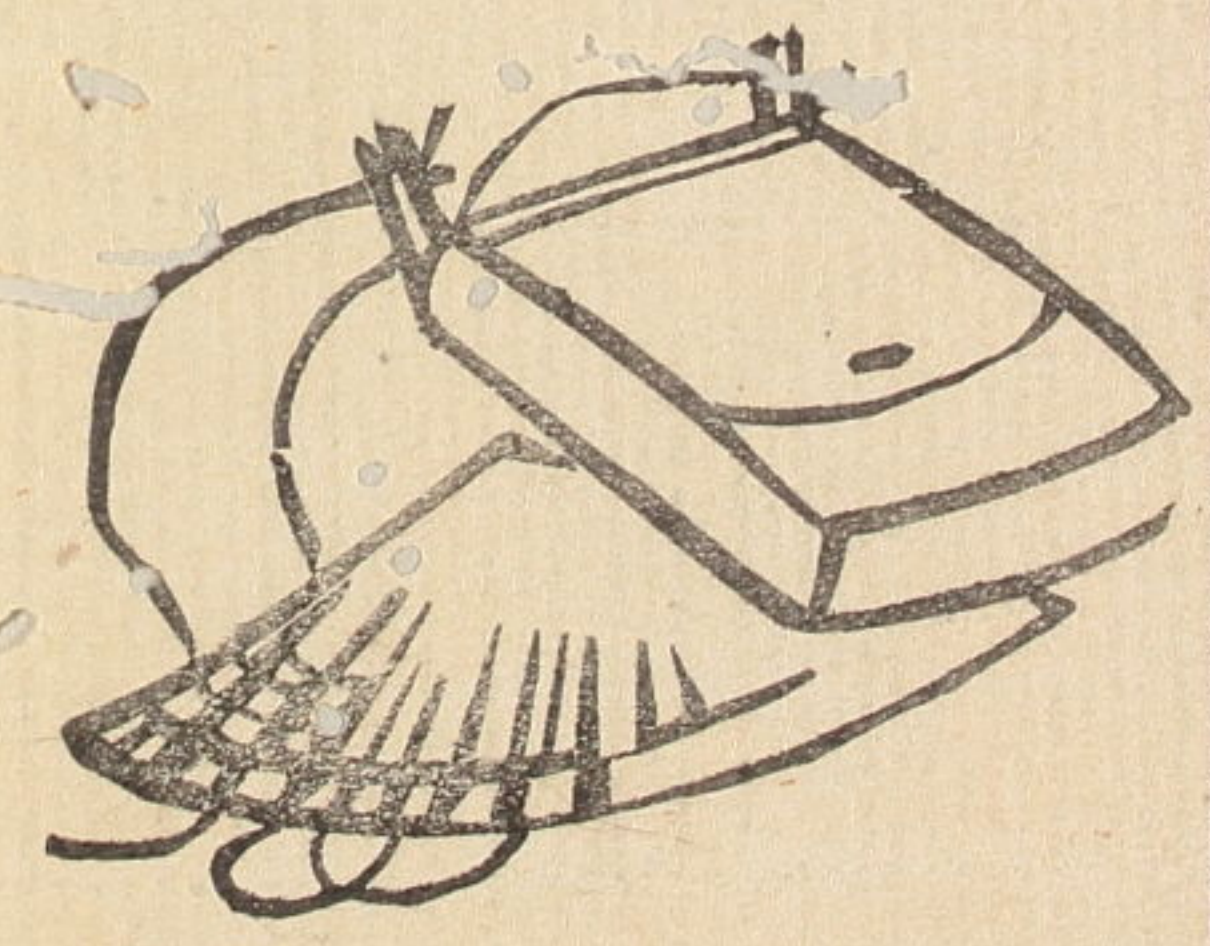
るるるるるるるる 月



草 草
 人 人
 拾 拾
 草 草
 草 草



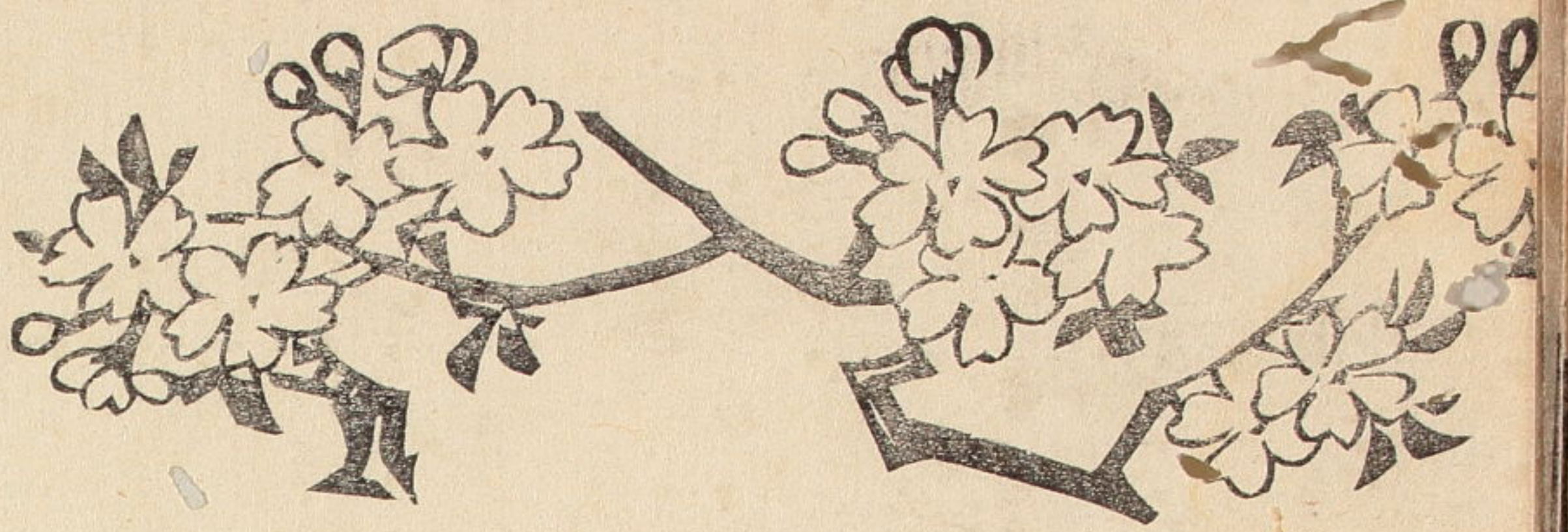
草 草
 草 草
 草 草
 草 草



草 草
 草 草
 草 草
 草 草

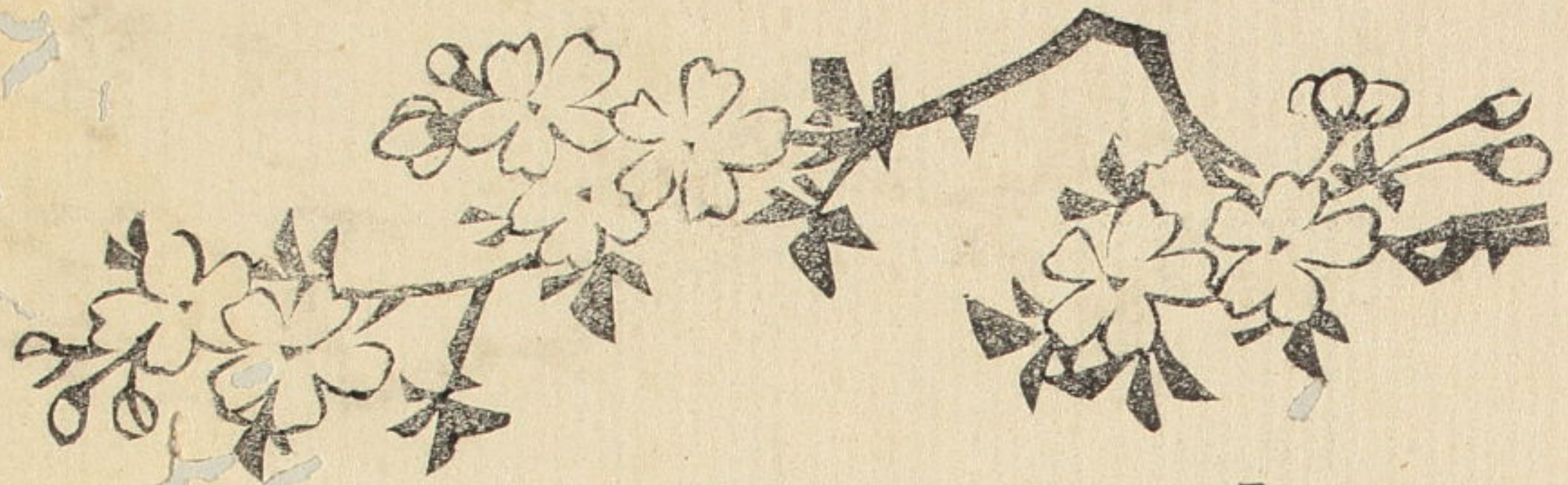
草 草
 草 草
 草 草
 草 草

草 草
 草 草
 草 草
 草 草



イセノ新仕中

〇
 ふさの中にも二つにわたり
 春草やまうけはめいりなま
 かげらのさくらさくらさくら
 引鶴のさくらさくらさくら
 春のさくらさくらさくら
 いさよふもさくらさくら
 さくらさくらさくらさくら
 声くらふもさくらさくら
 春



〇
 ふさの中にも二つにわたり
 春草やまうけはめいりなま
 かげらのさくらさくらさくら
 引鶴のさくらさくらさくら
 春のさくらさくらさくら
 いさよふもさくらさくら
 さくらさくらさくらさくら
 声くらふもさくらさくら
 春

〇
 ふさの中にも二つにわたり
 春草やまうけはめいりなま
 かげらのさくらさくらさくら
 引鶴のさくらさくらさくら
 春のさくらさくらさくら
 いさよふもさくらさくら
 さくらさくらさくらさくら
 声くらふもさくらさくら
 春



○

休足是升

春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興

春日樓曲

晴の空やあふれ 月と梅 花
 晴の空やあふれ 月と梅 花
 晴の空やあふれ 月と梅 花
 晴の空やあふれ 月と梅 花
 晴の空やあふれ 月と梅 花



○

何れも

春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興
 春の酒もあふれや 浮く蛙 幽興

志

三つとてちんねんおちるあゝ
 ちんねんおちるあゝ
 ちんねんおちるあゝ
 ちんねんおちるあゝ

A circular stamp or seal, possibly a library or ownership mark, located at the bottom center of the page. It appears to contain some text or a logo, but it is too faint to read clearly.

答

一
瓶
は
な
な
な

三子

山々々々
枯木石

3 2 1 0

全

依此連款

之
子

山
ふ
や
か
く
く
に
し
と
は
る
の
み

百池

事
 松
 風
 乃
 端

全

かの果に蜜をふる業と仕立て

牙

偶一はふやう朝の原所

日
月
の
ち
ろ
と
は
な
り
な
る

全

北
匕
卩
匕
𠂇
厂
乃
𠂇

池

干三原と糸に横之を糸にみ

全

壻者ハ悦容ニシ

子

またハ海やゝかやうはれられ
あやめ泳ぐものやいぢ
五月雨に雲塚寺の鐘乃ち
米坊参てはれ申らひ
深切ハ伯父と甥との中にある
今ハ大工もたゝめ老の身
有明ハ水より度より新し
得度の床に褥を置く
ふれぬ一式とまかけて

池 経 池 経 池 経 池 経 池

系とやうく 石物 夫
湯炎ハ洗鉢の化 五三
琴下より 神ハ 町中
城の傍に温泉 意く 夕暮
名をいふく 多し 身
傾城 手より 青い
清吉丸 體とく
きくものゝ 富士
飯 平家乃 運も 傾く

池 経 池 経 池 経 池 経 池

挽
 もろ
 子
 系
 の
 行
 隅

爲
 親
 な
 月
 の
 井
 池
 あり
 して

えんちんかんの碎

丁百の鈴乃勝も此處ふたつ

世帯寺の蔵屋

八

風齋

の
町
} }
} }
} }
} }
}

穉
 け
 か
 ゆ
 穉
 ゑ
 の
 け

みろくしんしう
名以字合

池 移 池 移 全 池 移 池 移

子胡氏子幾代序之

子子

○ 同 子 仙

三景吟了集やまの
上

未笑

親子いつちもきこ

三
子

小雪後冬之氣漸寒

全

風に吾もはるくとも

聖

追くふあはち、ちく者の月

八

古今集

五

費濁ノ糸ヲ以テ

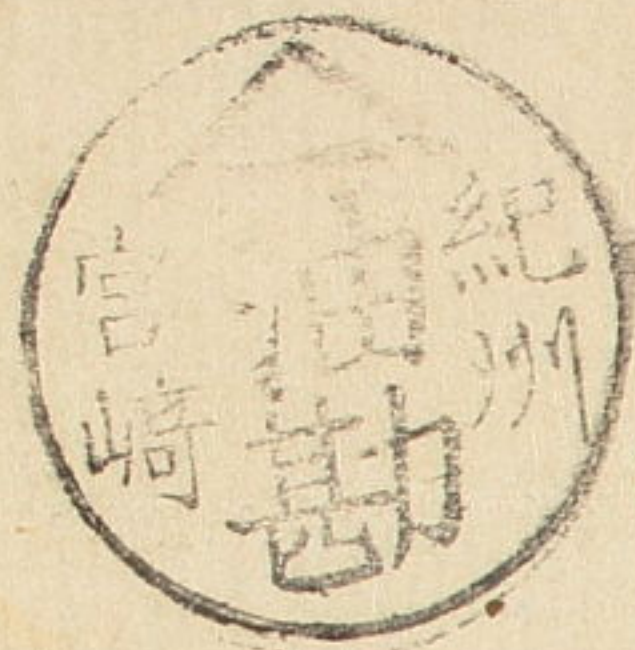
全

新まゝかうす人あひか
解るるふらに始の年たけ
係分限のえもまゝあ
いろは足指のくちまゝ
まゝうらゝくつゝ川を
お節ハ六月まゝ小
あゝうらゝくつゝ遠る目
はあゝうらゝくつゝ山の
くちまゝあゝうらゝく

あ け け け け け け け

薬机あゝうらゝく川に
飯増あゝうらゝく日乃
連ふあゝうらゝく切き
大根の株あゝうらゝく
あゝうらゝくあゝうらゝく
あゝうらゝくあゝうらゝく
あゝうらゝくあゝうらゝく
あゝうらゝくあゝうらゝく
あゝうらゝくあゝうらゝく

あ け け け け け け け



物事の儘もろくへなき

状

夕月に麗る破れし白塔

破

きよのハ新保りしと碇礫

碇

細やの磯へ立ちてふれきて

碇

果子を啼きもす清り

碇

むのさう小社の額へけりし香

碇

残ふ乳をまき音はる

碇

けくもつ伽羅もろくけりし

碇

昨きも昨日より雨あ

碇

五七人ぞちよとふる

賀

初年くち肥る

賀

○ 同歌仙

又てのけいふもろくけりし

賀

又のけいふもろくけりし

賀

川上乃るもろくけりし

賀

野のけいふもろくけりし

賀

又てのけいふもろくけりし

賀

又のけいふもろくけりし

賀

又てのけいふもろくけりし

賀

學

7

つと、美に染るを

戰

世
に
あ
る
の
日
あ
そ
か
く
ち
く

津、恒、之、子、孫、女、の、男、子、は、
子、孫、に、傳、へ、る、と、い、ふ、こ、と、

風芝水く音うきふきふき
備

膏藥

和歌ふとくすめり

くしに用ひて行找ふ

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

英ハルキ一功家看

胡邪論のからとる

あはたふとふすつば〜の巻

張坊のほのむすふ二里坊

大かたに
乃、乃

五福のちねに
ふたふたふた

[illegible]

予の終る世をくちか
也

詠
之
為
樂
事
也

水 彳 水 彳 水 彳 水 彳 水 彳 水 彳 水

部世汗の移り乃ほろ月

みたりふきやほめきぬ

乃ふ止ハ吟止む中葉諸部

くくくくくくくくくくく

頃るハ新の柳もまゝ

人もしきりふまゝ山

くくくくくくくくくく

頃るハ朝食の

きと卯の移りくくく

るもるもみめはの

磯山ハふ乃中より

くくくくくくくくく

○ 同 一 お

きや十きやハみ

ゆふのふ人乃神

き又入るを知るを

きかたりもみ

月新の移りたる

移水

移水

移水

移水

移水

移水

移水

移水

水

移水

水

移水

水

移水

水

移水

うけりあらめつきを祈る

水

みづをとりりりるるるる

黒木のきりぎりす

三石堂

酒をて馬士といふ子ゆきき

を余に玉の入りきり

母の業をゆきき

きりり中て船の堀

けきり山の隅りり

いたるるるの三位

水

秋とけりるるる

水

日暮れけりるるる

水

りりりりりりりりり

水

上戸のりりりりりり

水

○ 同一れ

南湯田を社中

りりりりりりりりり

水

五加木をむりりりり

水

りりりりりりりりり

水

りりりりりりりりり

水

可素

索經

三才圖會

夾
牝

侍

孝

齊

泉

絶

舟

京

侍

とる

經

休
欠

雲屯

子
子

全



石を礎として葺きの水
うきふくやうに九月より此月

けがれをふく

一室の不受を施す一頃ふく

足ハ血を流む竹影草ノ花

此印汁を墨に銘する竹の法

白木造りの山家三所

もたらしきるを合ふ新事

船を舟に頼る舟の法

空 空 空 空 空 空 空 空 空 空

意を宿り頼るるかへ

いつくしきちみきんの月

おそひ御用の事うねに

まきつゝめまきつゝ

近頃の遺稿を著くもの

こまきやうに是う有るもの

月一

空 空 空 空 空 空 空 空 空 空

梅の葉をゆくふ月夜

うきふくはるはる信

梅 空 空 空 空 空 空 空 空 空 空

昔印の電燈も入る

そとへは海の家へ

秋の夕べに夕べの夕

湯治場の海の家へ

秋の夕べに夕べの夕

親の鳥と秋の夕

夕の夕べの夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

大別と秋の夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

秋の夕べに夕べの夕

○
新山抄

等々々々々

三
子

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

張侯

はみ入物一箇の如き書あり

全

五十六
乃知子信之

子

心
一
之
故
乎
之
之
之
者

全

いづるもなきに

夢

雜
喉汁
うまき
磯子のみ草心
草阜

圖
家
惠
尔
足
以
正
甘
正
月
定
雅

五ノ一
深山
ヤ
フ
ニ
ミ
カ
ヨ
ト
子
之
子

15
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526

志
下
有
月
二
三

松月亭詩卷下

之

弓矢
桂
乃
角
刀
五
才
十
一
阜

阜

俗
婦
不
門
乃
三
中
一
終

子

[illegible]

三

子
子
子
葉
子
子
子
子

亭

世うらうらと暮えりてと笑ふに
味方志のえてかふる様は
三味線も枕もあやふふや系
福草のうめ吸もの一月
女のも錦もなう連なりて
節遠なるふ二のう山
ふもけきかふふふふ
うも草もあふふふふ
教盛のへいふふふふ

阜之終阜之終阜之終

ふふふふふふの里
ふふも牡丹も博も結は通
ふふあふふふ入の駒
二白暗ふふ料理乃破花弱
花せうは花はふふふ花場
ゆふふふふふふふの
ふふふふふふふふ
おふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

阜之終阜之終阜之終

月のさう南風ふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

あつたふれもあつた川

